

寄宿舎指導員学習会報告➡15年ぶりに開催しました!!

内容

熊本県では特別支援学校 5 校に 71 人(臨採含む)の寄宿舎指導員の方が勤務しております。以前は毎年夏に学習会を開催し、寄宿舎の実践を交流してきましたが、2011 年を最後に開催が途絶えていました

今回、久しぶりに学習会を企画し、全寄宿舎指導員(71 人)に呼びかけたところ当日参加も含めて 4 人の参加(うち 2 人が未組合員)がありました

講師には 2011 年に引き続き福岡高教組書記長の秋山聡(画像参照)さん(寄宿舎指導員出身)をお招きして「寮母」から「寄宿舎指導員」への名称変更に至った歴史、インクルーシブ教育をすすめるための寄宿舎制度改革の必要性等を参加者も意見を出しながら交流を行いました

学教法上寄宿舎指導員の職務は「寄宿舎における幼児、児童又は生徒の日常生活上の世話及び生活指導に従事する」をされており、熊本県でも 5 校それぞれで指導方法等に違いがあり、人間関係も難しいことなど、様々な観点から意見交換を行いました

賃金面でも 54 歳にならないと 2 級昇格が実現しないなど課題も山積しています

参加者からも参加してよかった😊との声もいただき、次回の開催を約束して会を閉じました

